

平成 29 年度 第 10 回理事会議事録

平成30年1月11日19時00分～21時30分、大宮ソニックシティ5F 第501会議室において理事会を開催した。

定刻に、代表理事 宇田英幸が議長席につき本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事 総 数	21名
本日の出席理事数	18名、委任状3名
監 事 総 数	2名
本日の出席監事数	0名、委任状1名

■出席役員

代表理事) 宇田英幸、
理事) 伊藤伸 (副会長)、茂木有希子 (副会長)、石川麻子、生方剛、大橋幸子 (書記)
北村ミチル、小池祐士、阪井之哉、鈴木香織 (書記)、高橋啓吾、田坂翔太、
深井勉、平田樹伸、星野暢、星野裕亮、丸達也、安井宏

■その他出席

地域包括ケア推進部) 野村健太
埼玉県リハ専門職協会・コミュニティケアネットワーク川越) 渡部慶和

■委任役員：三枝佳代、倉元貴志、鈴木真弓、土屋美樹 (監事)

■欠席役員：川俣実 (監事)

■その他欠席：広報部) 小峰一宏、福祉機器委員会) 鈴木康子

敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項

第1号議案 発達障害支援に係る専門職合同研修の講師について (資料1-①②)

埼玉県発達障害総合支援センターより、田坂翔太理事に「発達障害に係る専門職合同研修」(平成30年1月28日日曜日)の講師依頼があった。発表内容は「各専門職団体の最新の動向について」25分が予定されている。田坂理事の講師受諾および、田坂理事が出席困難な場合は、岡田洋一氏(埼玉県立小児医療センター)に代行していただくことが、満場一致で可決された。

第2号議案 平成30年度事業計画について (資料2)

学術部以外の各部署長より、平成30年度事業計画案が資料2の通り提出され、第一次検討が行われた。

●総務部

5. 定期刊行物その他の発送及び保管に関して

今後メールマガジンによる情報配信を導入することを前提に、定期刊行物(定期便)の発送に関する記載内容を再検討することとなった。定期発送による会員への各種案内・

通知が、今後メールマガジンによる情報配信に移行することについては、総務部および広報部の事業計画として議案書に掲載し、次回定期総会で会員の承認を得ることが満場一致で可決された。

●職能開発事業部

1. 精神障害地域支援推進部門の設立にむけた組織づくりへの協力として以下の研修会を開催する。に関して

研修会は「第3回精神障害を専門としていない作業療法士のための研修会」に加え、「第1回精神障害を専門としている作業療法士のための研修会」が追加された。

●地域包括ケア推進部

1. ー(1) 地域包括ケアシステム専門研修の開催に関して

本研修会を統括する埼玉県リハビリテーション専門職協会において、研修構成の再編成と名称変更を予定していることから、議案書原稿もその内容に準じて名称の記載を変更することとなった。

●認知症地域支援推進部

倉元部長代理、伊藤副会長より以下の説明があった。

1. ー1) 認知症専門研修の開催に関して、

初級コース研修構成の再編成を行う。現行の初級コース2日間の研修を、Aコース・Bコースに分け、平成30年度はAコース2回、Bコース1回の開催とする。

Bコースは協会の認知症アップデート研修に対応させる。中級コース、上級コースは今年度と同様に年1回開催する。

●福利厚生・災害対策部

6. 埼玉 JRAT 協定・規約の締結に関して

今年度中に完了させたい意向である。完了した場合は事業計画から削除する。

●ブロック

6-3) 臨床実習指導事例検討会の開催に関して

開催回数 3回 を加筆する。

●子ども支援委員会

1. 研修会の開催に関して

研修会名称について、再検討する。

●日本作業療法士協会平成30年度作業療法指針モデル事業

現在、協会に申請中である。正式な採用決定通知を待って、事業計画案を提出する。

●第27回埼玉県作業療法学会

テーマ：「つなぐ」に関して、現在は仮テーマである。

以上、報告、確認、討議が行われ、第一次検討案として、満場一致で可決された。

第3号議案 平成30年度予算案について（資料3）

資料3に基づいて第一次検討が行われた。

●ブロック

夏キャン運営費は、為ケ谷会計の指導により「広告宣伝費」の勘定科目になっている。
夏キャン準備にかかる交通費や会議費などは含まれているのか、その内訳について為ケ谷会計に確認する。(大橋事務局長)

●北村財務部長より

学術部の予算案がまだ検討中である。平成 29 年度の研修会収入概算が出れば、繰り越し収支差額概算ができるので、その時点で最終予算案を検討する。

●伊藤副会長より

平成 30 年度の協会モデル事業について、予算 72 万円で申請したが、協会から 50 万円規模での採択になる可能性がるとの連絡を受けている。協会に申請した事業のうち 30 万円弱が夏キャン助成を用途として計上しているため、減額された場合は差額の 22 万円分をブロックの夏キャン予算に付け替える可能性がある。

以上、平成 30 年度予算案について確認、討議が行われ、第一次検討案として、満場一致で可決された。

第 4 号議案 埼玉 JRAT 規約の作成について (資料 4)

阪井部長より以下の報告と検討依頼が提出された。

12 月 16 日に JRAT 関東ブロック会議に出席した。議事内容は資料 4 を参照されたい。

今後の課題として地域 JRAT の組織化推進が取り上げられた。

地域 JRAT はできてきたが規約が整備されていない。埼玉 JRAT も規約はないため、OT 士会・PT 士会・ST 士会の担当で規約作成を進めてよいかとの議案に対し、是非とも今年度中に規約作成を要望することが満場一致で可決された。

また、千葉県、栃木県、山梨県では県との協定締結に向けて活動している。埼玉 JRAT も是非の県との協定締結について検討してほしい。また、医師会 JMAT との関係についても、今後の検討課題である。熊本地震の際には JRAT は JMAT の傘下に入り災害支援に携わったが、実際には JMAT と JRAT の関係は曖昧なままである。このような他団体との連携にあたっては、埼玉 JRAT の規約整備は必要不可欠であろうとの見解が出された。

さらに埼玉 JRAT 規約では埼玉県医師会との連携についても検討していただきたいとの意見があがった。

第 5 号議案 第 1 回 埼玉県災害リハビリテーション研修会受講証について (資料 5)

第 2、3 回災害リハビリテーション研修会 Advance コース受講証 (資料 5) 書式について、三士会会長の連名となっているが、同じく三士会で共催している訪問リハビリテーション研修修了証では、三士会会長の下に「訪問リハビリテーション振興委員会」と委員会の印 (角印) が押印されているとのことから、同様に三士会共催事業として、三士会長連名の下に「埼玉県災害リハビリテーション委員会」の銘を入れ、押印することが提案され、満場一致で可決された。

第6号議案 埼玉作業療法研究投稿規定改定について（学生会員、お試し会員、非会員の投稿資格の件）（資料6）

投稿規定は、以下の通りである。

「2. 投稿者は原則として埼玉県作業療法士会の会員に限ります。ただし、作業療法の発展に特に寄与すると機関誌編集委員会が認めた場合にはこの限りではありません。作業療法士であって会員でない方はすみやかに入会の手続きをとって下さい。」

また、松尾編集委員長の意向については、事務局に以下の通り連絡があった。

- ①論文を提出する資格等については県士会の判断に一任いたします。
- ②学部学生が論文として投稿する場合は指導教員とメールでやりとりした方がスムーズだと思います。
- ③何かの企画として扱う場合は学会発表と同じで、原稿をいただければそのまま印刷会社におわたしいたします。

以上をもとに、討議がすすめられた結果、以下の内容を包含した投稿規定改定案を編集委員会にて作成し、今後の理事会で継続審議とすることが満場一致で可決された。

- ・学生の投稿は、学生会員であることとし、投稿は指導教員を介して行うこと。その際、指導教員は正会員であること。
- ・投稿者が非会員の場合は編集部が判断する（現行の規定通り）。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局：大橋より、以下の報告があった。

平成29年度事業報告原稿作成依頼をメール配信する。

2) 法人管理部：三枝部長代理にて大橋より以下の報告があった。

以下2件の後援依頼があり、例年後援を承認していることから三役審議で承認した旨報告された。（資料番号7-①②）

- ①（公社）埼玉県臨床工学技士会主催「第17回人工呼吸器安全対策セミナー」
- ②（公社）埼玉県臨床工学技士会主催「第17回臨床工学セミナー（第4回臨床工学実技セミナー）」

3) 総務部：丸部長より以下の検討依頼があった。

①次年度理事会日程について検討の結果、以下の通り決定した。

平成30年4月12日（木）、5月10日（木）、6月14日（木）

会場予約が完了次第、通知する。

②養成校卒業式および入学式参列者の調整について検討の結果、以下の通り決定した。

入学式日程未確認のものは、丸総務部長が確認・調整を行うこととなった。

●上尾中央医療専門学校

卒業式：3月7日（水）13：30～ 宇田会長

入学式：日程確認後再検討

●埼玉県立大学

卒業式：3月15日（木）午前中～ 茂木副会長

入学式：日程確認後再検討

●文京学院大学

卒業式：3月10日（土）10：00～ 伊藤副会長

入学式：依頼なし

●日本医療科学大学

卒業式：3月12日（月）午前中～午後 伊藤副会長

入学式：日程確認後再検討

●目白大学：卒業式・入学式とも依頼なし

4) 財務部：北村部長より、以下の報告があった。

2月末締めでの会計報告を後日依頼する（事務から会計担当者にメール配信）。

その後の年度末会計報告について速やかな提出が依頼された。

5) 学術部：安井部長より、検討依頼があった。

今年度事業計画にあげた「埼玉県作業療法学会開催支援」に関して、現実に学会運営は学会事務局が中心となって進められており必要性があまりないようである。今後の学術部事業の方向性がみえなくなっている。

平成30年度事業計画を検討するにあたり、学術部の役割について確認したい。

上記について以下の意見が出された。

大橋：学会支援では演題査読に関して、査読者の選定、査読依頼、演題採択の支援を想定していたが、現実には学会事務局で進められている。

伊藤副会長：会員のニーズはあるが今の部局構成では賄えない研修、例えば今年度の高次脳機能障害の研修などを、学術部で開催していただくと良いと思われる。

他の都道府県士会の学術部事業なども参考にして、次年度事業計画を検討することが決定した。

6) 生涯教育部：鈴木香織部長より、以下の報告があった。

今年度士会裁量ポイント付与に関して各部署長に取りまとめの連絡をする予定である。

7) 職能開発事業部：鈴木真弓部長より、特段の報告事項はないと報告があった。

8) 広報部：生方部長より、以下の報告があった。

- ・ホームページ改修について業者との打ち合わせを継続中である。予算内でトップページの改修など可能かどうか見積もり依頼中である。
- ・メルマガ導入についてはエキスパというメルマガ配信システムの導入を広報部員の小峰一宏氏に担当していただく予定である。
- ・3月28日、29日開催の医療報酬・介護報酬改定説明会では本会場からサテライト会場へのネット中継IT支援を広報部で実施する予定である。サテライト会場となる彩の国東大宮メディカルセンター（鈴木香織理事）、国立障害者リハビリテーションセンター（伊藤副会長）と予行行い同日不備のないよう準備を進めていく。

・会長より

サイボウズが来年の4月に終了となるが、zoomという無料アプリがあり、トライアル中である。ミーティング・ソフトウェアの中で一番利便性が良いかもしれない、サイボウズに代わるツールについて今後も情報収集を継続する。

・伊藤副会長より

西部ブロックでメルマガ配信のトライアルを行うことを先の定例会で報告した。西部ブロックでトライアルを重ね、本格運用へつなげる。

・ペーパーレス決済導入について、1月25日に打合せ会議を予定している。出席者は北村財務部長、大橋事務局長、伊藤マヤ（事務職）、生方部長の予定。

・12月12日～今日までのホームページ訪問者9905件であった。（資料7）

研修会、求人情報へのアクセスが多いので、これらの利便性を高めるニーズがある。伊藤副会長：瓦版1454回のアクセス件数がある。県士会ホームページからのアクセス393件、サイボウズから250件。ホームページからのアクセス数が増えると良い。

9) 地域リハ推進部：平田部長より、以下の報告があった。

・1月14日（日）大宮ソニックシティ国際会議場にて「彩の国リハビリテーションフェスタ」を開催する。三士会共催事業でOTスタッフは8名。是非ご参加ください。

内容は、一般市民に向けたリハビリテーションの啓発活動を目的にOT、PT、ST各士会がブースを設置する。OT士会では、認知症、作品展示、自助具、感覚遊び（小児）などを展開する。「作業療法」パネルを設置するが、こちらは来年度以降も使用していく予定である（発注済み）。（資料8-①）

広報は、地域包括ケアセンター、保健所、高校などへポスター発送し、併せてWEBサイト掲載を行った。

・三士会協力のもと、「訪問施設マップ」「療育マップ」を作成しホームページ掲載しているが、3年に1度の情報更新であり内容が古くなってしまう問題点があり、南本理学療法士会会長より、インターネット上で掲載施設が直接情報更新できるようなホームページ（仮称：リハビリテーションマップ）を三士会で協働運営していけないかという提案が出されている。（資料8-②）

ホームページ作成にあたっては、以下のことが検討課題である。

①掲載する施設は基本的に会員所属施設とするか？

②訪問、療育だけでなくその他の施設も掲載対象とするか？

③内容入力各施設に番号を付与し入力してもらうか？

④初期費用50万程度必要か？P：0：S=30：10：3の費用分担が可能か、各士会の次年度予算案で検討してもらいたい

⑤カテゴリー分類などはホームページに関する知識のある理事に支援をいただきたい。今後、三団体連絡会議で、検討していく必要がある。

10) 地域包括ケア推進部：茂木部長より、以下の報告があった。

・1月28日（日）地域包括ケア×生活行為向上マネジメント×認知症対策コラボ研修が

開催される。50名定員だが認知症VRあと5名可能である。午前中は認知症VRとひもろぎの園・OTR石井利幸氏の講義、午後はMTDLPをからめたグループワークの事例検討を予定している。認知症例でMTDLP事例を書きたい方には良い内容となっている。

- ・次年度のナイトセミナーは講師を検討中である。要望があればサイボウズでご連絡ください。

11) 認知症地域支援推進部：倉元部長代理で会長より、以下の報告があった。

- ・12月17日、京都で開催された「本人（若年）のつどいを考え、広める研修会」に倉元部長・吉田OTR・小林OTR・内山OTR・宇田会長が参加した。家族の会との関係は盤石なものになっている。
- ・1月の寄居町「お城 de カフェ」で吉田朋子OTR（あさひ病院）が一般市民を対象とした認知症の講義を実施する。
- ・来年度の研修、つどいの予定はすでに決定している。理事の皆さん、ぜひつどいに一度参加して現場を体感してください。予定は <https://goo.gl/StceeU>

12) 福利厚生・災害対策部：阪井部長より、以下の報告があった。

- ・12月16日（土）平成29年度JRAT関東ブロック会議に出席した（資料4）。
有事の際における各都県間の相互援助形式が作成された。埼玉関連は以下の通り。
埼玉県有事の際：援助①東京都、②群馬県、③神奈川県
東京都有事の際：援助①埼玉県
群馬県有事の際：援助②埼玉県
栃木県有事の際：援助③埼玉県
有事の際にご協力をお願いします。

- ・日本OT協会による災害発生訓練に参加する。訓練内容は以下の通りである。

2月3日（土）、協会から大規模災害発生の連絡が来る

➡各士会で検討した訓練を実施する

➡埼玉：立川断層のずれによる強い地震が発生したと仮定

➡役員にメールが届く、Googleフォームで居場所、被害状況、状況報告

➡集約する

役員に状況確認のメールが届くので、速やかに返信をお願いします。

報告内容は集約してOT協会報告する。後日報告書を提出することになっている。

- ・2月3日（土）第1回災害研修Advanceコースの開催を予定している。

13) 制度対策部：石川部長より、以下の報告があった。

- ・平成30年度診療報酬・介護報酬情報等に関する作業療法伝達講習会の開催を予定している。

診療報酬：3月26日、本会場・国リハ、サテライト会場・彩の国東大宮メディカルセンター

介護報酬：3月28日、本会場・彩の国東大宮メディカルセンター、サテライト会場・国リハ

- 14) 各ブロック
- ①東部ブロック：小池ブロック長より、以下の報告があった。
12月16日 越谷・若年のつどい9名参加
 - ②西部ブロック：深井ブロック長より、以下の報告があった。
2月事例検討予定、現段階で申し込み1名のみ、広報を継続する。
3月7日ブロックカンファレンス開催、実習事例検討を予定している。
 - ③南部ブロック：鈴木香織ブロック長より、以下の報告があった。
2月6日：ブロック会議開催する。
2月24日：上尾若年のつどい
3月6日：南部ブロック研修会「どうする？どうしてる？？退院・在宅支援」開催
 - ④北部ブロック：星野裕亮ブロック長より、以下の報告があった。
12月19日ブロック会議を開催し埼玉作業療法学会協力について打ち合わせ実施。
1月21日現職者共通研修開催予定、現在申込者48名。
- 15) 訪問リハビリテーション振興委員会：星野暢委員長より、以下の報告があった。
- ・1月20日：第6回在宅リハナース研修会開催予定
 - ・2月：訪問リハビリテーション実務者研修会アドバンスコース開催予定、現在申し込み40名ほど、あと20名可能
 - ・3月10日：OT専門研修「こんな方法もある地域支援！～OTの眼を活かす地域への参画～」参加申し込み少ないため、再度PRする。
- 16) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋委員長より、以下の報告があった。
- ・1月26日：MTDLP事例の書き方講習会、開催予定。現在申込者36名。
- 17) 子ども支援委員会：田坂委員長より、以下の報告があった。
- ・12月23・24日：「小児を専門としている作業療法士のための研修会」を開催した。アンケート集計中である。
 - ・県委託事業「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修」が終了した。1月28日反省会開催される。
- 18) 福祉機器委員会：鈴木康子委員長代理、大橋より報告事項なしと報告された。
- 19) 第27回埼玉県作業療法学会：丸学会事務局長より、以下の報告があった。
- ・北部ブロック会議にて、学会テーマ、運営役割などを話し合った。
 - ・2月にはプログラムを検討し、講師依頼などを進める予定である。
 - ・明後日1月13日が演題募集締め切りだが、現在演題登録が2題である。演題応募の呼びかけをお願いする。
- 20) 埼玉県リハビリ専門職協会：渡部リハ専協会事務局長より以下の報告があった。
- ・12月25日に理事会を開催した。
 - ・研修修了者まだOTの修了者が一人もいない市町村がある。
 - ・フォローアップ研修への参加も促したい。
 - ・来年度の研修は初級、中級、上級といった段階付けを検討中である。

- ・3月に地域ケア会議の基礎コースと実務者研修を開催する。
- 21) コミュニティケアネットワーク川越：渡部リハ専協会事務局長より以下の報告があった。
- ・DASKを作った栗田先生による市民公開講座が開催された。

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長

3月18日：日本看護協会会長が田井会長を務める「日本医療マネジメント学会埼玉支部学術集会」が開催される。当会からシンポジストとして茂木副会長を推薦した、ポスター発表には、会員の高橋暢介さん（ベルツ草加）、武田真穂さん（リハビリテーション天草病院）に依頼した。

2) 茂木副会長

- ・高次脳機能障害の方への支援について強い要望がある。今後どうしていくか検討が必要だろう。家族会との接点の模索、県予算の取り付けなど検討が必要。地域包括ケア推進部内でやろうかとも考えたが、人材確保など問題がある。新しい部署の立ち上げが必要か、今後検討の余地あり。（大橋）
- 障害者福祉推進課でも進められる見通し、県立リハビリセンターやサポートセンターとの連携・協力が可能か？
- ・診療報酬改定は注目が必要。

3) 伊藤副会長

- ・明後日、看護協会の新年会に参加する。

III. その他

次回理事会：平成30年2月8日（木） 501会議室

上記の議決を明確にするため、出席理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成30年 2月 8日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会
